

子育てほんわかタイム

大切にしたいね、家族の会話



のへじの教育

Contents

- 学校教育ビジョン…………… 1
- 教育の座標軸…………… 2
- 教育予算の概要…………… 3
- 子どもたちの学び舎…………… 4
- 社会教育施設の紹介…………… 5
- 教育ニュース…………… 6

生き生き子ども！ 温か家族！ はつらつ先生！ 地域が支える野辺地の教育

発行/野辺地町教育委員会 Tel 0175-64-2119 fax 0175-64-4954

毎月20日は『ふれあい教育の日』

大人と子どもが共に学びあひ町

学校力

家庭力

地域力

で子どもを育てよう

世界へ漕ぎ出す知恵の波が満ちる

十待ヶ浦のような かしこい野辺地っ子

時代の流れを変えつつ涵めることのない

野辺地川のような しなやかな野辺地っ子

季節の彩りを楽しませ心を和ませる

愛宕山のような やさしい野辺地っ子

風雪に負けることなくどっしりとした

烏帽子岳のような たくましい野辺地っ子

こんな子どもに育てたい！

「生きる力・はたらく力」

を身につけた子どもの育成

生きる力・はたらく力とは、社会や個人の生活をより良くしていくために、学んだことを実生活に幅広く生かしていく力のことです。

この力は、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を通して培われるものです。

野辺地の子どもたちが、知識や技能をしっかりと身につけ、健康で勤勉に働き、思いやりのある心をもって人と交わり、将来に向けて夢や希望を切り拓き、自他の幸せのために活躍する人に成長して欲しいという願いから、基本目標の一つといたしました。

「人や家族を愛し、自然や郷土」

を大切にする子どもの育成

子どもたちが家族や地域に温かく見守られ、健全に育てられていくことにより、地域の中で豊かな心を持ち、人や家族を愛し、野辺地町の自然や地域を大切に思う心が育まれていきます。

野辺地町の子どもたちが将来にわたって、いつ、どこで生活しても家族と郷土を思い、大切にすることを忘れない人づくりができたなら素晴らしいことです。

そうした子どもたちを育てていきたいと考え、基本目標の二つ目といたしました。

個を生かし生きる力と夢を育む学校教育

知・徳・体の調和のとれた心豊かな児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという視点にたち、一人ひとりの個性を生かし、創意と工夫を凝らした学校教育の推進に努める。

かしこい野辺地っ子を育む教育

・ 確かな学力の育成

・ 社会に目を向け学びを深める教育の推進

しなやかでやさしい野辺地っ子を育む教育

・ 人としての生き方を学ぶ教育の推進

・ 不登校児童、生徒及びいじめへの対応

たくましい野辺地っ子を育む教育

・ 食教育と保健教育の充実

豊かな心と身体を支える教育環境の充実

・ 開かれた学校づくり

・ 各校種間の連携

・ 安全安心な学校づくり

・ 教職員の子どもを支える力、導く力の向上

・ 心豊かな人づくりに取り組み行動する教育委員会

学校教育を支える主要事業

- ★ふれあい教育の日啓発事業
- ★教育長ふれあいトーク開催
- ★町内音楽交歓会開催
- ★外国語指導助手の配置
- ★スクールサポーターの配置
- ★職場体験事業の支援
- ★中学校新改築事業
- ★給食の充実・愛情弁当の日制定
- ★作品展の開催
- ★教材備品の整備
- ★教職員ふるさと研修実施
- ★小・中学校連携事業
- ★中学校理科教育支援員配置
- ★のへじの昔っこ読み聞かせ
- ★社会科副読本刊行
- ★重度障害者通学支援事業
- ★学童スキー大会開催

事業についてのお問い合わせは、学校教育課 ☎(64) 2119



町内音楽交歓会



野高生による出前授業

平成23年度野辺地町教育の座標軸

一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育

国際化、情報化、高齢化など激動する社会に対応し、自ら学び社会参加により心の触れ合いを深め、生きがいのある生活と住みよい地域社会をつくるため、社会教育諸条件の整備充実を図り、総合的な社会教育の推進に努める。

幼児から成人の生涯学習を支援する主要事業

- ★青少年教育推進事業（若者フォーラム・ふれあい通学合宿）
 - ★つながりあい支えあい家庭教育応援事業（6月～12月）
 - ★川柳・俳句大会の開催（11月）
 - ★郷土歴史昔話の伝承
 - ★ハッチョウトンボ生息域の保護と観察会事業（7月）
 - ★フォトコンテスト・カレンダー作成（12月）
 - ★中学生ウルトラクイズ開催（10月）
 - ★みんなの教室開催（5月～10月）
 - ★文化祭開催（10月22日～23日、11月4日～6日）
 - ★のへじカルタ大会開催（1月）
 - ★読書感想文コンクール開催（7月～8月）
 - ★生涯学習大学開催（7月～12月）
 - ★板状立脚土偶づくり体験事業（8月）
 - ★文化少年団活動支援（6月～12月）
 - ★伝統芸能や技術の継承事業
 - ★健康ウォーターマラソンスタンプラリー開催（9月1日～3月中旬）
 - ★スポーツ少年団活動支援
 - ★河童水泳大会開催（10月）
 - ★各種スポーツ大会開催・支援
 - ★スポーツカレンダー発行（5月）
- 参加希望やお問い合わせは、
- ・ 社会教育スポーツ課 ☎(64) 2119
 - ・ 中央公民館 ☎(64) 3054
 - ・ 図書館 ☎(64) 2195
 - ・ 歴史民俗資料館 ☎(64) 9494
 - ・ 温水プール ☎(64) 9777



トランポリン教室

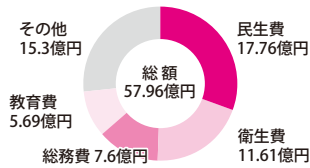


ふれあい通学合宿

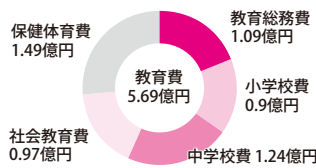
毎月20日は『ふれあい教育の日』

平成23年度 町教育予算の概要をお知らせします

<一般会計に占める教育費の状況>



<教育費予算の内訳>



<児童・生徒一人に使われる教育費>

	人数	一人当たりの額
小学校	706人	127,867円
中学校	370人	333,932円

※人数は23年4月1日現在の児童生徒数

【教育総務費】

- スクールバス運転業務委託料 3,500千円
- 子どもたちの英会話能力向上支援業務委託料 4,987千円
- 町教育振興会補助金 1,060千円
- 幼稚園就園奨励費補助金 8,000千円
- 児童生徒用コンピュータ維持費 9,130千円

【小学校費】

- 教材備品等購入費 (一般) 2,973千円
- スクールサポーター賃金 (5人) 6,870千円
- 社会科副読本印刷費 3,575千円
- クロカンスキー用具購入費 2,125千円
- 教材備品等購入費 (エネルギー教育用) 2,152千円
- 教材備品等購入費 (理科教育用) 4,000千円
- 準要保護児童就学援助費補助金 3,332千円
- 遊具・消防設備等修繕料 1,869千円
- 野小地デジアンテナ改修・若小床タイル改修費 1,430千円

【中学校費】

- 教材備品等購入費 (一般) 3,182千円
- スクールサポーター賃金 (3人) 4,122千円
- 理科教育支援員賃金 1,287千円
- 教材備品等購入費 (理科教育用) 1,498千円
- 準要保護児童就学援助費補助金 3,869千円
- 大会派遣費補助金 2,600千円
- 浄化槽等各種設備保守点検料 4,051千円
- 校舎等改築実施設計・地質調査委託費 70,895千円

【社会教育費】

- 板状立脚土偶づくり体験事業 36千円
- 町民スポーツフェスティバル開催費 64千円
- ハッチョウトンボ保護費 20千円
- フォトコンテスト・フォトカレンダー作成費 311千円
- 家庭教育支援事業 (講座開設) 144千円
- 中学生ウルトラクイズ開催費 20千円
- 若者フォーラム開催費 45千円
- ふれあい通学合宿開催費 121千円
- 社会教育団体補助金 431千円
- 成人式開催費 380千円
- 中央公民館電子ピアノ購入費 109千円
- 図書館システム構築事業委託料 420千円
- ブックスタート事業費 1,039千円
- 野辺地の歴史と文化財編集事業 834千円
- 行在所改修記念特別展開催費 148千円
- 一里塚・藩境塚案内板制作費 498千円
- 文化表彰 122千円
- 社会教育施設修繕 2,195千円

【保健体育費】

- 水泳教室開催費 290千円
- トランポリン教室開催費 31千円
- ウォーターマラソン開催費 42千円
- 体育団体補助金 1,861千円
- スポーツカレンダー発行 49千円
- スポーツ表彰 450千円
- 社会体育施設修繕 2,000千円

野辺地中学校新改築！目指します！

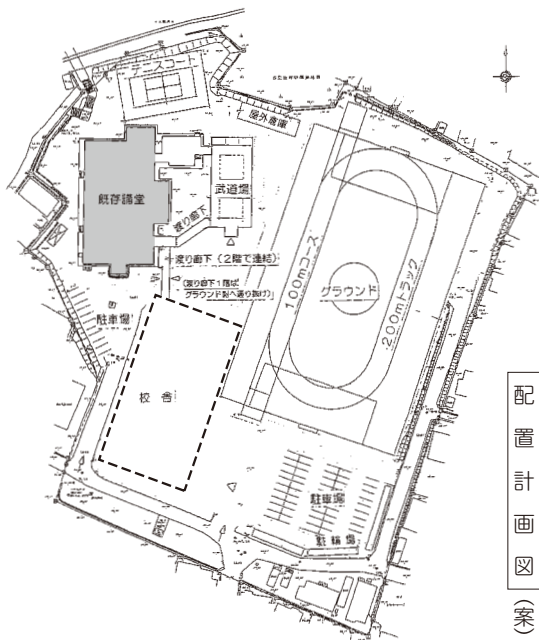
笑顔あふれる明るい学校

心豊かな生徒の自立を支援する学校

文武両道を目指す学校

家庭・地域と連携した学校

安全・安心・健康で快適に過ごせる学校



配置計画図 (案)

野辺地中学校は昭和22年に開校し、昭和42年に現在の校舎が新築され、平成元年には現在の講堂が新築されました。

平成7年の阪神・淡路大震災などの教訓から「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が施行され、当町では平成20年、22年に野辺地中学校の耐震、耐力調査を実施いたしました。その結果、校舎は新改築し、新耐震構造の講堂は既存のまま使用することといたしました。

町では、まず行政職員で基本構想案を作成し、続いて昨年は学校教職員と保護者代表による改築事業基本構想検討委員会を立ち上げました。

検討の結果、校舎は現在の講堂へ連結させる、現有地は昔から教育の地(弘大教育学部)と

して馴染みがある、商店街活性化の資源となっていることから、現在地に建設することといたしました。

なお、工事期間中は教育環境維持のため、プレハブ校舎は建設しないで現有校舎を利用しながら、校舎南西部に新校舎を建設し、講堂と連結する、また、現在の武道場とプールは解体し、武道場を新築、グラウンドは一周200メートルを確保することとしております。

今年の実施設計を行い、早ければ来年度以降に工事に入る計画となっております。今後、保護者や地域の方々のご意見を聞きながら進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

大人と子どもが共に学ぶ社会教育施設を紹介します

中央公民館

☎0490054

中央公民館は、町民の学習と創造の場、コミュニティの場、そして憩いの場として、町の総合社会教育施設の役割を、昭和51年4月の開館以来35年間果たしております。
今年度も、町民へ多様な学習の場と機会を提供する「みんなの教室」や野辺地町の芸術・文化活動を披露する「文化祭」、青少年教育の「文化少年団」、子育て交流の「ピコロピよびよクラブ」など、各種発表会・展示会を実施いたします。

「いつでも、だれでも、どんな時にも中央公民館」をスローガンに、「心豊かな人づくり」を目標に活動を展開いたします。
開館時間 午前8時30分～午後9時
休館日 年末年始



町立図書館

☎042195

図書館は、昭和60年5月に開館。開館当初から、子ども読書活動の推進を重点目標として、各種おはなし会や読書マラソンなどを開催しております。平成21年には、毎月20日を「家族ふれあい読書デー」に制定し、家読（本を通して家族のコミュニケーションを深めること）を推進することを目的として、「家読講演会」「家読におすすめの本300冊」リストの発行、「家読でスタンブライブラリー」などを開催しました。

今年度からは、親子ふれあい読書・親子の絆を深める「ブックスタター」事業を実施し、さらには家読を推進します。
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 毎週月曜日、年末年始、国民の祝日



歴史民俗資料館

☎049494

歴史民俗資料館は、野辺地の歴史と生活文化の移り変わりを示す資料を収集・整理・展示・活用する施設です。江戸時代の野辺地は盛岡藩の湊町で、日本海や瀬戸内海を航海した北前船の往来により経済的発展をみました。このような近世から近代の歴史を伝える資料のほか、考古資料では町指定有形文化財となっている約3500年前の「板状立脚土偶」（昨年、大英博物館に出品されました）や約5500年前の「赤漆塗り木胎漆器」（世界最古の螺鈿漆器と言われています）が見えます。このほか特別展や各種講習会なども随時開催しております。

開館時間 午前9時～午後4時
休館日 毎週月曜日、年末年始、国民の祝日



湯ノ内温水プール

☎046677

屋内温水プール「サン・ビレッジのへじ」では、幼児・小中学生を対象に水泳教室（前期・後期）を毎年開催しております。参加した子どもたちは、泳ぐことの楽しさを実感したり、友達ができたりして、水泳教室終了後に開催されている、町内河童水泳大会等に参加して実力がついたことを確認し、喜んでおります。

また、成人を対象とした健康ウォーターマラソンスタンブラリーを開催しております。号砲とともに、半年間で仙台市（400km）をめざし出発します。
開館時間 (火・土) 午後1時～午後9時 (日・祭日) 午後1時～午後5時
休館日 毎週月曜日、年末年始



馬門公民館

☎049300

昭和55年に開館した馬門公民館は、地域住民の学習・憩いの場として、長年親しまれております。毎年、10月には地区自治会が文化祭を開催。子どもから大人の作品展や芸能発表、食卓も開設されます。どうぞご覧にお越しください。



開館時間 午前8時30分～午後9時
休館日 年末年始

町立体育館

☎041459

野辺地町立体育館は多くのスポーツ団体が利用し、明かりが消えていることはほとんどありません。主に、中学校の部活動やスポーツ少年団活動が利用しているのですが、高校の部活動や一般のスポーツ団体で利用することもあり、野辺地町のスポーツ活動の多くは町立体育館で行なわれています。



何かスポーツをやってみたいなど思っている方、町立体育館へ足を運んで、実際に見学してみるのもいいかもしれません。
開館時間 午前9時～午後9時
休館日 毎週月曜日、年末年始

運動公園

☎041069

運動公園は、昭和61年5月18日に町営球場オープン、昭和63年5月陸上競技場供用開始、平成元年11月運動公園テニスコート6面が完成し、現在に至っております。毎年5月初旬には、町営球場開設記念中学校野球大会が開催されており、今年も、野辺地町・野辺地ライオンズクラブが主催での大会となり、近隣の中学校8チームが参加しております。



また、7・9月には町内ソフトテニス大会が予定されており、サッカー競技・陸上競技・ゲートボール等町民のスポーツ振興に役立っております。
開園時間 特に制限なし
休園日 冬期間（11月～3月）

青少年ホーム・体育センター

開館時間 午前9時～午後9時
休館日 毎週月曜日、年末年始

☎0490057

愛宕コミュニティセンター

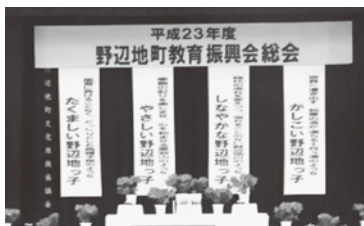
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 年末年始

☎046246

有戸学習等共用センター

開館時間 午前9時～午後9時
休館日 年末年始

町内小・中学校教職員と社会教育関係者が 一同に集い開催された野辺地町教育振興会総会



去る4月、120名の教育関係者が出席して、中央公民館で町教育振興会の総会が開催されました。席上新しく当町に着任された学校教職員の紹介があり、来賓で出席した亀田町長は「野辺地の子どもはみんなよい子ばかりです。子どもの指導をよろしく頼みます」と歓迎の言葉を述べました。

続いて横濱教育委員長より開会の挨拶後、古田教育長が町の教育方針の説明の中で、「町が目指す子ども像と子どもと向き合う教師の姿、そして小・中・高校との接続の教育と学校力・家庭力・地域力の繋がりを大切にしたい」と強調しました。

会議では、小・中連携公開授業、町内音楽交歓会、学童スキー大会の開催等や、学校教育を支援する各種社会教育事業の説明があり、「大人と子どもが共に学びあう町」づくりに向け決意を新たにしました。

「大人と子どもが共に学びあう町」に向け決意を新たにした教育関係者

30年の歴史を刻む「みんなの教室」 町民の学びの教室スタート！！

町民の多様な学習を支援するため、長きにわたり開催されている「みんなの教室」の開講式が行われました。受講生はそれぞれ学ぶ目標と、秋の文化祭の発表を目指しスタートいたしました。

席上、講師の紹介があり亀田町長から「仲間意識を持ち、町づくりのリーダーになって下さい」と激励の言葉がありました。



町民憲章を読み上げる受講者たち

野中の元気は町の元気！！ 5月開催された野辺地中学校大運動会



元気に入場行進



各組団長による選手宣誓

「一致団結」〜熱き魂 さらなる高みへ〜
野辺地中学校では5月晴れの下、スポーツの祭典である大運動会を開催。元気はつらつとした370名の生徒が、多くの来賓や保護者から盛大な拍手で激励されておりました。

教育広報「のへじの教育」 発行にあたって

野辺地町教育委員会 教育長 古田 力也

日頃、多くの町民の方々より町教育の振興に多大なご指導をいただき感謝と御礼を申し上げます。

この度、教育広報を発刊できましたことは町の教育行政や学校が歩んでいる道にご理解をいただき、より一層のご指導を賜る機会になるものと大変嬉しく思います。今町では「笑顔あふれるまちのへじ」を唱い「心豊かな人づくり」を推進しております。それを受け野辺地町教育委員会では豊かな心と郷土に対する誇りを持ち、健康で創造性に富み、新しい時代を主体的に切り開く青少年の育成をはじめ、町民の生涯にわたる教育・文化・芸術スポーツの振興に努めているところであります。

未来に生きる子どもたちにより良い環境を引き継ぎたいという多くの方々からの期待から教育は、いつの時代、どんな時代であっても大きな関心ごとであり、希望でありますので私たちはそれら親の願い、地域の希望を真摯に受け止め「教育の町のへじ」構築のため努力しなければなりません。

そのため現在、「教育の飛躍」をキーワードに学校・家庭・地域が互いに機能を発揮し子どもを守り育てるため「大人と子どもが共に学びあう町」づくりを推進してきております。

今後これまで以上に教育現場を大切に、課題解決に積極的に取り組み、開かれた行動する教育行政を目指します。ですので重ねてご理解とご指導をお願いいたします。

平成二十三年 六月